



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名: モンクロベニカミキリ

学名: *Purpuricenus lituratus*

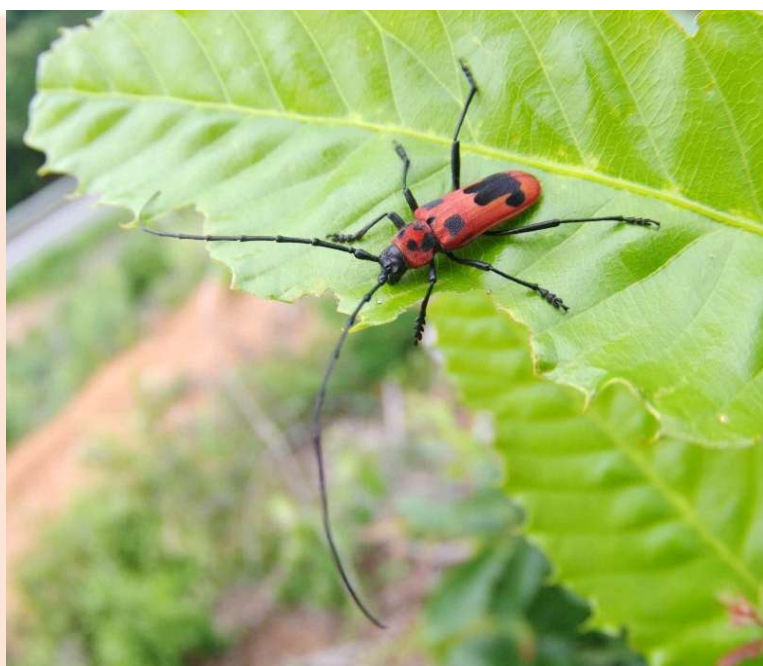
広葉樹の伐採跡地で、コナラやミズナラなどのひこばえを探して歩くと見つかるのがモンクロベニカミキリです。若葉を食べるために集まっているのですが、本来の住処は樹冠、つまり、林の一番上の部分です。

春に伐採地を訪れた時、切り倒されたばかりのミズナラの葉に、たくさんのモンクロベニカミキリが集まっていました。

このような樹冠を生活の場に行っているため普段見かけることはありませんが、伐採跡では樹高が低いために近くで観察することができます。

ベニカミキリの仲間は3種おり、上翅の紋がないのがベニカミキリ、上翅の縁が黒い毛で縁取られるのがヘリグロベニカミキリ、上翅に大きな黒紋があるのがモンクロベニカミキリです。この黒紋の形や大きさには個体差があります。

また、雄の触角は長く(写真の個体)、雌は短いため、雌雄の区別は容易です。展示しているのは雌個体です。



【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

